

もののれ〜る 44号



平成 26 年 1 月 15 日発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 272) / Fax 042-566-4493 / E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

モノレール延伸実現に向けて

モノちゃん募金に熱い想いを!

ここにもあります! 募金箱!



平成 25 年 7 月に始まったモノちゃん（多摩都市モノレール）募金の、募金箱の設置場所を 2 月 1 日から 35 箇所（30 施設）に拡充します。公共施設だけではなく、コンビニエンスストアなどにも設置しますので、「いつでも」募金を受け付けられるようになります。モノレールの延伸には、行政だけではなく、市民の皆さまの熱意が必要です。ぜひ、皆様のご支援・ご協力をお願いします。

12月28日までに集まった募金は、113,784円になりました。

ホームページからの「モノレールに対する意見」や「市長への手紙」、デエダラまつりの時などに、市民の皆さまからいただいたご意見と、回答を紹介しします。今回は、モノちゃん募金に関する質問と回答を紹介しします。

質問・意見

モノちゃん（多摩都市モノレール）募金は何に使うの？

回答

モノちゃん募金は、全額、多摩都市モノレール基金に積み立てています。

モノレール延伸時の資金を負担するのは、インフラ部（支柱や基礎など構造物）は東京都、インフラ外部（車両や電車線など）は多摩都市モノレール株、駅前広場や公共施設（自転車置き場など）は東京都又は市です。（営業区間の例を基にしているため、今後変更となることもあります。）

そして、営業区間では、沿線自治体が多摩都市モノレール株に出資や資金貸付を行っており、延伸実現時にも、同様の支援が必要になることが考えられるため、市では、平成 23 年度から 10 年間で 10 億円を目標に、資金を積み立てています。これが「多摩都市モノレール基金」です。

市で積み立てる基金と、皆様からの募金は、別に集計をし、その状況を東京都等への PR に役立てるほか、延伸実現時には、武蔵村山市らしい駅前広場の建設や、自転車置き場の整備などに使わせていただく予定です。（詳しくは、「ものれーる 36 号」をご覧ください。）

モノレール担当の給料になるの？

インフラ部？
インフラ外部？

モノレール基金？



質問・意見

ふるさと寄附金（ふるさと納税制度）との違いは何？

回答

平成 20 年 10 月に始まった「ふるさと寄附金」に「多摩都市モノレールの走るまちづくりを応援」という応援メニューがあり、モノちゃん募金と同様に 1 円から受け付けています。（市・財政課が窓口）。この「ふるさと寄附金」では、受領書を発行しますので、2,000 円以上の寄附の場合には税額控除が適用されます（寄附者が個人の場合）。この寄附金は、「ふるさと基金」に積み立てを行い、平成 25 年末現在、約 967 万円（うち「多摩都市モノレールの走るまちづくり」への寄附金は、約 330 万円）が積み立てられています。

一方、「モノちゃん募金」は、募金額に対する税額控除等はありませんが、「誰でも」、「いつでも」気軽に募金できる制度として平成 25 年 7 月に開始しました。この募金は、「多摩都市モノレール基金」として、現在、約 10 万円が積み立てられています。モノレールのび〜るシャープペンの売上金も、この多摩都市モノレール基金に積み立てています。

今はこの 2 つの寄附金（基金）は別々に管理していますが、寄附金（基金）の目的はどちらも、「多摩都市モノレールの延伸時の資金準備」ですので、今後、「多摩都市モノレール基金」として一括して管理していけるように準備・検討中です。

ふるさと寄附金？

モノちゃん募金？



延伸に向けた現状や課題については、パンフレット「みんなの願い！多摩都市モノレール延伸！！」をご覧ください。パンフレットは、都市計画課窓口や市内公共施設においてあるほか、市ホームページからダウンロードできます。